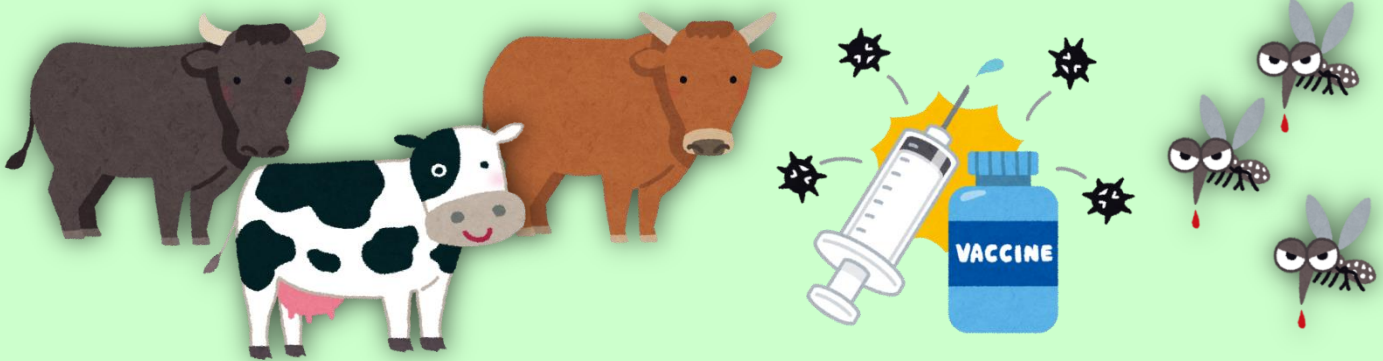


牛の異常産をワクチン接種で予防しましょう！

- ◆蚊などの吸血昆虫が媒介するアカバネ病などの異常産関連ウイルスが妊娠牛に感染すると、流産や奇形子産出などが発生し畜産経営に甚大な被害を及ぼします。
- ◆早春以降、吸血昆虫が活発に活動する時期となります。毎年の適切なワクチン接種がこれら異常産関連ウイルスの感染を防ぎ、発生予防につなげましょう。



疾病名	アカバネ病	アイノウイルス感染症	チュウザン病	ピートンウイルス感染症
感染時期	初夏から晩秋			
症状	異常産 死流産 体型異常 神経症状	異常産 体型異常 盲目 起立不能	異常産 神経症状 盲目 起立不能	異常産 体型異常 死流産
予防方法	アカバネ病 ワクチン			
	異常産3種混合ワクチン			
	異常産4種混合ワクチン			

- ◎4種混合ワクチンが加わります。初年度は2回接種が必要です。
- ◎イバラキ病ワクチンは国内情勢を見ながら接種の啓発を行います。
- ◎流死産、子牛の奇形などを発見しましたら、当所へご連絡ください。